

創

—第75回—

光はすぐそこに

今年は3年ぶりに温泉まつりを開催し、盛会のうちに幕を閉じました。

特にクライマックスの『湯ぶっかけまつり』には全国から多くの方々が集まり、久々に別府本来の元気をみる事ができました。

ただコロナが終息した訳ではありませんから、かつての日常に戻す動きを不安に思う方もおられるでしょう。しかし、こうして徐々に元に戻っていくのだと思いません。

今回の祭り開催にはたくさんの方の歓迎や激励のお言葉をいただきました。多くの市民の皆様や別府ファンの皆様も待ち望んでおられたのでしよう。

国もコロナ対策を大きく転換しました。ワクチン接種は4回目からは60歳以上の



別府市長
長野 恭紘

方々、18歳以上の基礎疾患のある方々のみとなりました。また夏を前に屋外でのマスク着用は人との距離を取れるのであれば必要ない、との発表もありました。

屋内においても同様だと私は思います。普通に考えれば当然だと思いますが、今後は行政機関の情報をごまめにチェックしていただく事と同時に、常識的に考えて問題なく、他人も嫌がらない事であれば自身の頭で判断し適切に行動する。皆で実践することが重要です。トネルの出口まであと少し。光はすぐそこに見えています。(6月6日執筆)



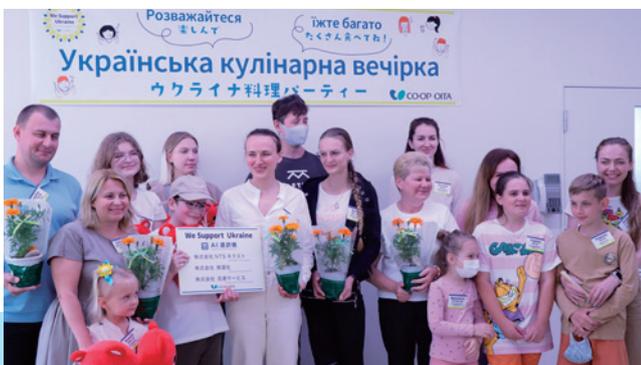
フォトべっぴ



第三弾—日本を代表する映画人が別府を舞台に短編映画を制作するプロジェクト。今回は齊藤工監督と俳優の安部賢一さんによる制作記者会見が別府ブルーボード劇場で行われ、会見終了後は駅前通りでの撮影の様子をメディア向けに公開しました。



PV制作プロジェクト—市と伊予銀行の連携協定の一環として、別府大学と松山短期大学の学生がお互いの街に若者を誘致するプロモーション動画を制作するため、別府市内リサーチツアーを実施しました。動画は7月下旬に完成予定です。



母国の料理を通して—別府と日田に避難しているウクライナ避難民の方々が料理を通して交流を行いました。「少しでも気を紛らわせる時間を提供するために」コープおおいさんが企画し、参加者は和やかな雰囲気の中、ボルシチなどの料理を楽しみました。



貢献を称え—6月7日、元ラグビー日本代表の向井昭吾さんと後藤翔太さんのツーリズム別府大使委嘱式を行いました。お二人は別府市国際スポーツ大使として、RWC2019日本大会で海外有力チームの公認チームキャンプ地決定に大きく貢献していただきました。